

ソフィアの視点

Sophia Future Design Platform

－未来に向けたデザインを考える場－

学長 曄道 佳明



人の成長とは、継続的に、しかし節目を上手く使いつつ、自身の志や信念を育みながら生涯を通じて果たされるものと考えます。小中学校、高等学校、大学といった教育課程の枠組みは、当然この一助となるものですが、人の成長はその期間に、あるいはその枠組みの中で完結されるものではないことは言うまでもありません。

大学という場を考えると、学位に到達するためのカリキュラムが学びの軸になります。例えば学士の学位を獲得するためには、学科が提供する体系的プログラムによる専門性、全学に共通に提供される科目群による教養、コミュニケーション力を修得することが求められます。これは、人の成長という観点からは、専門知のみならず、深い思考力・洞察力、多角的な広い視野、他者との関わりへの姿勢など、学問を超えた大きな力を具備することを意味します。

さて、上智大学では、新組織「Sophia Future Design Platform 推進室」（略称：SFDP 推進室）を2023年夏に立ち上げました。この組織のネーミングは、この組織の二つの機能を意味しています。一つはここに集まる人たちが未来社会の創造を考える場、そして今一つは自分自身の将来を考える場という意味です。激しい社会変容の中で新たな社会をどうデザインするのか、自分の生き方、役割をどうデザインするのか、今を生きる全ての立場の人にとって「デザインする力」は極めて重要な資質と言えます。

SFDP 推進室の役割はこのような「未来に向けたデザイン」と向き合い、考え、挑戦する機会を提供しようとするものです。「単位」、「必修・選択」、「授業時間」といった学位プログラムでの「制度」に縛られることなく、全ての立場の人が大学に集い、議論し、未来に向けたデザインへのヒントを引き出す新たな大学の機能を発揮する試みです。

例えば、SFDP 推進室が展開する公開講座「プロフェッショナル・スタディーズ」では、ビジネスの最前線にいる人たちにとって、教養の具備と共に、その教養の発揮…例えば着想、構想を引き出す訓練の場が提供されます。普段触れることのない異質にこそ着想のヒントは隠れています。教養こそ、着想、構想を、そしてときに実装を支える有力な力と考えます。一方で、さまざまな立場の人たちに向けた「地球市民講座」もこの4月より開始されました。社会課題が溢れる中、社会の変革や技術の革新を意識しながら、地球市民としての人生観、役割を考え、各人の次なるステージを切り開く、そのような場になればと考えています。高校生、大学生から長きにわたり社会での役割を果たしてきた人たちまで、多層的な人の集いの場が何をもたらすのか、大いに期待されるところです。

SFDP 推進室は今後、新たな発想の下で、多様な学びの場を、多層的に展開していきます。さまざまな立場の方たちがこの四谷のキャンパスに集い、対話や議論を重ね、各人が「何か」を持ち帰る…新しい上智大学のキャンパスの展開にどうぞご期待ください。

動画シリーズ「Learning at Sophia」新作公開

一人暮らし編と国際寮編に12人の学生が登場

本学での学びや魅力を学生や教員が語る動画シリーズ「Learning at Sophia」に、新たに「一人暮らし編」と「国際寮編」が加わり、上智大学公式YouTubeチャンネルで公開された。

「Learning at Sophia」シリーズは、主に高校生を対象に大学選びの参考にしてもらうことが目的の動画だ。

第1弾の学部編では、各学部の学部長や教員、在学生在が登場。それぞれの学部の学びの特徴に触れながら、在学中にどのような成長を遂げることが出来るのか、自身に重ねてイメージできるような構成が好評を博している。

第2弾となる「一人暮らし編」と「国際寮編」では、地元を離れ本学への進学を選択した12人の学生たちが登場。大学選びや東京への進学を決めた理由、東京での暮らしや大学での学び、将来の夢などに加え、国際寮と一人暮らしという選択から得られた気づ



大学公式YouTubeで公開中

きと成長について、体験を交えて語っている。

広報グループの担当者は、「第2弾では、地元を離れ、東京、そして本学に入学した学生たちが、自らの選択について語っている。それぞれの葛藤と決断、一人暮らしのリアルなど等身大の言葉で語っているので、特に地元が東京かで進路選択に悩む高校生にぜひ見てもらいたい」と話している。



YouTube動画はこちら

UC Berkeleyとの短期ビジネスコースを今秋学期開講決定

記念講演会に多数の企業社員と在学生在が参加

3月19日、上智大学 Sophia Future Design Platform推進室(プロフェッショナル・スタディーズ事務局)は、カリフォルニア大学バークレー校 Haasビジネススクール(以下バークレー-Haas)のSaikat Chaudhuri教授を講師に招き、「企業の変革および起業家精神と革新の重要性について」と題した講演会を開催した。本学ではバークレー-Haasおよびバークレーエグゼクティブエデュケーションとの連携により、プロフェッショナル・スタディーズ(以下、PS)会員企業を主対象とした短期ビジネスコース「Innovation Boot Camp」を2024年秋学期に開設する。本講演会は当該コースの開設記念として開催され、当日はPS参画会員企業の社員や在在学生ら約200人が参加した。



講演するChaudhuri教授



会場の様子

曄道佳明学長による開会の挨拶の後、Chaudhuri教授は「日本企業におけるイノベーションやアントレプレナーシップ、イントレプレナーシップ(社内起業家精神)、また既成概念の破壊を実現するスタートアップによる成長によって、日本は再び世界で新たなリーダーシップを発揮するだろう」と日本への大いなる期待を語った。

また、業界によって異なる成長トレンドを把握することの重要性を強調するとともに、かつてのリーディングカンパニーが衰退する一方で、大企業の中でも新たな技術変革を取り入れイノベーションを起こした企業の事例を挙げながら、「テクノロジーや市場の動向を予測しようとするのではなく、観察することで変化のタイミングを見つ



バークレー-Haasおよび本学のパートナーシップの記念写真

け出し、迅速に対応する必要がある」と語った。

そして、実際にイノベーションに成功した企業の特徴を挙げ、「日本は未来に投資し重要なタイミングをつかむことで、再びテクノロジーとイノベーションを牽引するだろう」と会場の参加者へ熱くエールを送り、約1時間の講演を締めくくった。

学生の父母・保証人の皆様 地域懇談会へご参加ください

5月25日から7月6日にかけて、第57回上智大学地域懇談会が全国11都市で開催される。学生の父母・保証人を対象に、本学の教育方針を説明するとともに、最近の大学の状況や取り組み内容について紹介することが目的。

東京会場(四谷キャンパス)では、午前に全体集会で大学の現況や上智大学後援会(父母会)の活動を紹介。続いて就職・留学説明会が行われる。午後は学科別集會および懇親会、就職・留学

に関する個人面談や、カウンセラーによる相談(東京B、Cのみ)も行われる。

東京地区以外の地方会場では全体集會、就職・留学の説明会(録画)と懇親会が行われる。

参加方法やプログラムの詳細については4月下旬から順次保証人宛に発送する案内状に記載している。問い合わせは総務グループ地域懇談会係まで。

▶TEL03(3238)3223

2024年度 第57回 上智大学地域懇談会 開催日程・会場

会場番号	開催地	開催日	会場名	対象学部
1	東京A	5/25(土)	上智大学四谷キャンパス	総合人間科学部、国際教養学部、理工学部
2	仙台	6/2(日)	TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口	全学部
3	大阪	6/2(日)	TKPガーデンシティPREMIUM大阪梅田新道	
4	札幌	6/9(日)	TKPガーデンシティ札幌駅前	
5	高松	6/9(日)	高松国際ホテル	
6	東京B	6/16(日)	上智大学四谷キャンパス	
7	新潟	6/22(土)	ホテルオークラ新潟	全学部
8	広島	6/23(日)	TKPガーデンシティ広島駅前大橋	
9	福岡	6/23(日)	TKPガーデンシティ博多	
10	静岡	6/29(土)	ホテルアソシア静岡	
11	長野	6/29(土)	ホテル信濃路	
12	東京C	6/30(日)	上智大学 四谷キャンパス	神学部、文学部、経済学部
13	名古屋	7/6(土)	TKPガーデンシティPREMIUM名駅西口	全学部